



【2022年車両関連の規則改定について】

2022年 JMRC 関東統一規則書は作成中ですが、車両関連のみ2021年からの主な変更部分について、先に告知します。

<クラス区分>

●2022年群馬ラリーシリーズ、長野県ラリーシリーズ、関東ラリーカップ

※タイヤ規制を変えるので、クラス区分は2021年から変更なし

1クラス：排気量2500cc を超える4輪駆動車両

2クラス：排気量1500cc を超える2輪駆動車両

及び排気量1500cc を超え2500cc を含み
2500cc までの4輪駆動車両

3クラス：排気量1500cc を含み1500cc までの車両

※1600cc 以下の RPN 車両は3クラスに含めるものとする

※4クラスは設定せず。AE車両は3クラスで、AT車両は排気量による

◆参考 2022年地区戦(=2023年全国推奨区分)

1クラス：排気量2500cc を超える車両

2クラス：排気量1500cc を超え2500cc 以下の車両

3クラス：排気量1500cc 以下の車両

4クラス：排気量は問わず、AE及び1500cc 以下のAT車両

<タイヤ>

●2022年群馬ラリーシリーズ、長野県ラリーシリーズ、関東ラリーカップ

使用タイヤは全日本ラリー選手権統一規則に規定されるタイヤを使用すること

※銘柄による規制については特に行わない

※舗装の場合、タイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有したタイヤおよび

スノータイヤ(「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ)の使用は認める

ただし、縦溝のみを有したタイヤの使用は認められない

◆参考 2022年地区戦(=2023年全国推奨)

同上

<ホイール>

●2022年群馬ラリーシリーズ、長野県ラリーシリーズ、関東ラリーカップ

RRN 車両:下記又はFIA公認書に記載されている数値を最大値とする

RJ 車両 :下記又は同一車両形式のカタログに記載されている数値を最大値とする

RPN 車両:下記又は同一車両形式のカタログに記載されている数値を最大値とする

総排気量が 1400cc以下の車両:最大直径 14 インチ、最大幅 6.0 インチ

総排気量が 1400ccを超え 2000cc 以下の車両:最大直径 16 インチ、最大幅 7.0 インチ

総排気量が 2000ccを超える車両:最大直径 17 インチ、最大幅 7.5 インチ

※なお、上記の最大値は各競技会特別規則書等により規定することができる

◆参考 2022年地区戦

規定値は同上ですが、特別規則書等による規定はありません

<安全装備> 【シートベルト規程改訂】

●2022年群馬ラリーシリーズ、長野県ラリーシリーズ、関東ラリーカップ

安全ベルトはJAF国内競技車両規則 第2編ラリー車両規定 第2章安全規定 第2条 に合致したものとし、**5点式以上を必着とする**

車体側へのハーネスの取り付け方法は当該年度JAF国内競技車両規則第4編 細則 ラリー競技およびスピード競技における安全ベルトに関する指導要綱 に準拠した取り付け方法 4.車体側への取り付けに 準拠すること

◆参考 2022年地区戦

安全ベルトはJAF国内競技車両規則 第2編ラリー車両規定 第2章安全規定 第2条 に合致したものとし、**5点式以上を強く推奨する**